

第14号

新風会だより

発行：平成25年1月15日

いそぎ陽輔新風会

大分市長浜町2-12-10

TEL 097(535)8260

<http://www17.ocn.ne.jp/~isozaki/>

ヨウスケが行く



参議院議員

磯崎 陽輔



明けましておめでとうございます。参議院議員の磯崎陽輔です。

昨年の衆議院総選挙で、自民党は3年4か月振りに政権を奪還し、年末に安倍晋三内閣が発足しました。その一連の人事の中で、私は、内閣総理大臣補佐官(首相補佐官)を拝命しました。身に余る名誉です。今後は、安倍総理の下で、「日本を取り戻す」ため、誠心誠意努めていきます。役人時代、安倍総理が小泉内閣の内閣官房副長官の時に、安全保障担当の内閣参事官としてお仕えしており、2度目の官邸入りとなります。

総選挙は、想像以上に自民党の圧勝でした。やはり、政権交代の大きな期待を背負って誕生した民主党政権の余りにずさんな政権運営に、国民が拒否を示したものと考えます。一方で、3年半近くの間、自民党は責任野党として努力を続け、東日本大震災の復興や社会保障・税一体改革などにおいて与党と協力してきました。さらに、各選挙区においては、前回の総選挙で落選した元職や新人の臥薪嘗胆の努力が続けられてきました。その結果であると考えます。

大分第一区では、2回目の挑戦となる穴見陽一さんが当選しました。小選挙区制になって自民党が一度も勝利したことのない選挙区であり、小選挙区での勝利は、誠に意義深いものがあります。大分県では、衛藤征士郎さんや岩屋毅さんと共に、自民党が小選挙区を独占しました。支援者の皆様のおかげです。ありがとうございました。

今後は、まず、日本の経済を取り戻すことに全力を傾注します。日本では、20年以上もデフレ経済が続いてお

り、世界にも例がありません。その大半は自民党政権時代であり、自民党にも、大きな責任があります。それは、デフレ経済の克服策を講じないで、景気対策だけに集中していたからです。そのため、一定の景気効果はありましたが、持続的な景気回復はなかなか達成できませんでした。そこで、今回は、大胆な金融緩和策を日本銀行と連携して講じ、まず円高デフレの経済構造から脱していきます。

金融緩和だけでは、物価の上昇、すなわちインフレとなるだけであり、それを雇用の確保や賃金の上昇につなげていく必要があります。そのため、大型の内需拡大策を講ずるとともに、イノベーション(革新的技術開発)や規制緩和を進めていきます。自民党は、国土強靱化政策を掲げ、東日本大震災の反省の下に、首都直下型地震や東南海、南海道大地震などに対応するため、防災・減災施策を中心に予算を拡大する考えです。その結果、「自民党に政権が復活したら、景気も復活した。」と言われるようにしなければなりません。

外交の立て直しも、急務です。まず外交の基軸である日米関係を立て直し、従来のような強固な日米のパートナーシップを取り戻します。その上で、領土を巡り冷え切っている中国や韓国との外交関係も、改善していかなければなりません。それができるのも、議員外交で長年の実績がある自民党だけです。

こうした施策を確実に進めていくためには、政治の安定が不可欠です。政治の安定があってこそ、経済の安定があり、国民生活の向上へとつながっていきます。7月には参議院議員通常選挙が行われ、衆参のねじれのある国会で、何としても与党が参議院でも過半数を獲得し、安定した政治を実現できるようにしなければなりません。

その中で、私も、有権者の皆様の審判を仰ぐこととなります。この6年間、日本国と大分県のため、誠実に参議院議員の職務に務めてきました。この時期に、首相補佐官との兼務は、確かに大変ですが、国家が様々な国難を抱えている時期に、そんなことは言うておられません。引き続き、一所懸命努力しますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

「新風会会長有松一郎氏にインタビュー」



昨年6月の総会でいそざき陽輔新風会会長に就任した有松一郎さんに、今後の新風会の運営方針や参議院選への対応などについてお話を伺いました。

― 就任して7か月が経ちましたが、どういう後援会にしていきたいかなど運営方針をお聞かせください。

私は、いそざき陽輔新風会は、磯崎陽輔さんが大好きな人たちが集まった「ファンクラブ」だと思っています。ですから会員の皆さん一人一人が磯崎議員の魅力を伝え、ファンの輪をどんどん広げることが何よりも大切だと思っています。私自身もいろんな所でいろんな人たちと接する度に必ず磯崎議員のお話しをするようにしています。私は、子育て世代です。磯崎議員は、子育てをしている人たちのこともしっかりと考えてくれる方ですから、そのような一面もしっかりとPRしています。

― 磯崎議員のどのようなところが魅力だと思いますか。

何と言っても気さくな方ですね。どこにでも精力的に出かけていくし、行った先々では、その場に合った話しをしているのには感心します。磯崎議員の講演や活動報告を聞いていると、話しが分かりやすく率直だと感じます。それは、政策に裏打ちされた、きちとしたものがあるからです。最近では、聞こえの良い、受けの良いキャッチフレーズを打ち出すだけで、中身がない政治家がたくさんいます。磯崎議員に関して言えば、このような政治家とは全く異なることは皆さん御承知のとおりです。

官僚出身ということで「硬い人だ」と誤解を受けることも多いです。だからこそ「こんなに面白い人ですよ。」という人間的な魅力の部分も伝えていくのが、新風会の役割だと思っています。また何といても忙しい人なので、何かちょっとしたことがうっかり抜け落ちたりすることもあるでしょう。そういう場合は私自身がしっかりフォローす

るつもりです。議員の手が届かない部分を支えていく、新風会はそういう橋渡し役でもあると考えています。

― いよいよ来年は参議院選挙ですが、新風会としての取組についてお聞かせください。

県選出の参議院議員で、この人以外に国を引っ張っていく人がいるのだろうかと思います。政界には変な風が吹いたりもしていますが、磯崎議員はそのようなことで揺らぐ人物ではありません。実力が違います。

政界再編の動きの中で、とすれば、マスコミは政党の対立路線をあおったりしますが、そうした中で国民が選んだのが今の政権です。情報は必要ですが、惑わされず、人物本位で選んでほしい。私たちの今の生活も何とかしないといけません。次世代にどのようなバトンを渡すかという視点で有権者の皆さんは考えてほしい。目先のことだけではダメなのです。それは（民主党が政権を取った）この3年間で思い知らされていますから。

磯崎ファンを自称するこの新風会では、既にそうしたことに気づいている会員は多いと確信しています。ただ、選挙に絶対という言葉はありませんから、新風会挙げて、手を抜かずにきっちりと支援していかなければならないと思っています。

― 最後にいそざき陽輔新風会会長としての決意をお聞かせください。

私は、磯崎議員のことが大好きで今回会長をお引き受けさせていただきました。ファン代表として魂をこめて取り組んでまいりますので、会員の皆様、一緒に磯崎議員を応援していきましょう。

有松一郎氏

大分青年会議所理事長、日本青年会議所大分ブロック会長を経て現在は、大分中央ホールディングス専務、社会福祉法人大分分会長、大分市PTA連合会会長
モットーは「何事も一所懸命」、44歳

ホームページで、活動記録を御覧いただけます。

<http://www17.ocn.ne.jp/~isozaki/>

携帯サイトは、右のQRコードからアクセスしてください。メルマガ会員も、募集しています。



この6年間の軌跡

平成18年

- ◎7月末に総務省を退職。8月から大分県下を回り、活動開始

平成19年

- ◎7月参議院大分選挙区で初当選

平成20年

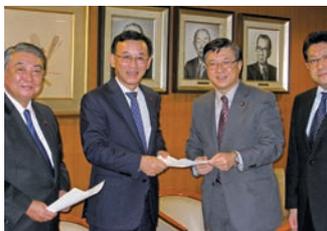
- ◎振り込め詐欺撲滅WT幹事として、振り込め詐欺に携帯電話が悪用されることを防ぐため、「携帯電話不正利用防止法」を改正。(6月)
- ◎自由民主党国会対策副委員長に就任。(10月)
- ◎無駄遣い撲滅PT委員(公共事業担当)となり、21年度予算の公益法人等に対する委託費を大幅削減。

平成21年

- ◎漂流・漂着物対策特別委員会幹事に就任し、海岸漂着ごみの処理責任を明確にするため、議員立法で「海岸漂着物処理推進法」を成立させた。(7月)

平成22年

- ◎自由民主党の谷垣総裁に、同期有志を发起人とし、シャドーキャビネット(影の内閣)の設置を申入れ。
- ◎参議院総務委員会筆頭理事に就任(4月)
- ◎「政治主導」の在り方検証・検討PT事務局次長として「報告書」を取りまとめ、政権交代後の民主党の誤った政治主導に対して我が党の考え方を示した。(6月)
- ◎参議院予算委員会理事に就任(10月)



平成23年

- ◎自衛隊施設内での行事における発言を規制する防衛事務次官通達について、憲法違反ではないかという問題が発生。参議院党言論弾圧通達検討PT座長として、通達を撤回させた。
- ◎東日本大震災後の初めての予算委員会で、東電福島第一原発事故の初動対応の不手際について、菅総理を厳しく追及。(3月29日)
- ◎予算委員会で、海江田経産大臣に対し原発のストレス導入を追及、大臣は涙を流して辞任を示唆。菅総理には、外国人がらみの二重献金疑惑について徹底的に追及し、辞任の引き金に。(7月7日)

- ◎野党5党の共同提案で、東日本大震災の被災市町村が自由に使える交付金を設けるための「災害臨時交付金法案」を提出。政府提出の「復興特区法案」を修正し、交付金法案の趣旨を実現。(12月)



- ◎大都市問題に関する検討PT事務局次長となり、道府県においても「特別区」を設置できるようにするための地方自治法の改正案を取りまとめ、議員立法として成立させた。(12月)

平成24年

- ◎沖縄振興特別委員会副委員長として、政府提出の沖縄振興関係2法との与野党修正協議を担当。ほぼ自民党案を丸のみさせ、米軍跡地法案では、法律名も野党提出法案の名称に修正。
- ◎自由民主党の公務員給与問題の責任者として、野党議員でありながら人事院勧告等を実施する法案を作成し、与野党協議を経て、成立させた。(3月)
- ◎郵政事業に関するPTメンバーとして、「郵政改革法案への対応の考え方」を起草し、党総務会で決定。それを土台として与野党協議を行い、郵政見直し法案を成立させた。(4月)
- ◎自由民主党は、主権回復記念日に合わせ、日本国憲法改正草案を発表。憲法改正推進本部起草委員会事務局長として、同草案を執筆。
- ◎税制調査会基本問題検討小委員会事務局長として、政府提出の「個人番号制度法案」の修正協議を主導。

- ◎2週続けて豪雨災害が生じた日田市、中津市、竹田市等を数度にわたって視察。杵築市では流木被害の漁港も視察し、内閣官房長官に九州地方集中豪雨対策について申入れ。(7月)



- ◎消費者教育に関するWT事務局長として取り組んでいた議員立法の「消費者教育基本法案」が、3年越しの努力が実って成立。(8月)
- ◎道州制推進本部事務局次長として、第三次答申の作成に参画するとともに、「道州制基本法案」を起草。(8月)
- ◎参議院文教科学委員長に就任(10月)
- ◎内閣総理大臣補佐官に就任(12月)

新風会ひろば

ホームページで、活動記録を御覧いただけます。
<http://www17.ocn.ne.jp/~isozaki/>
 携帯サイトは、右のQRコードからアクセスしてください。



玖珠町機庫まつりで



国政報告会



内閣総理大臣補佐官に就任



衆議院選当選を祝って万歳



豪雨被災地の皆さんの要望を聞く



豪雨被災地視察



衆議院選挙応援①



衆議院選挙応援②

いそざき陽輔新風会・
いそざき陽輔東京後援会御入会をお願い
 磯崎陽輔の活動を応援して下さる方、
 是非御入会をお願いします。
 入会については、右記にお問い合わせください。

- いそざき陽輔新風会 (TEL 097-535-8260)
 ホームページからのお申込みもできます。年会費は1,000円です。
 下記郵便局の口座までお振り込みください。
 口座番号:01730-4-118483 加入者名:いそざき陽輔新風会
- いそざき陽輔東京後援会 (TEL 03-6550-1004)
 年会費は、一口2,000円です。下記郵便局の口座までお振り込みください。
 口座番号:00100-1-743291 加入者名:いそざき陽輔東京後援会